

会計人の教養

8

2016 AUGUST



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div>	<p>進行役：①一步前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る ★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む ★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」 <p>④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一步前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

会計人の教養

8

ひとりひとりが経営者

31 30 29 27 26 25 24 23 22

水 火 月 土 金 木 水 火 月

夏祭り
クールビズ
机上の空論
壁
健康
花火
紙と共に
春夏秋冬
価値観

9 8 7 6 5 4 3 2 1



2016 AUGUST 平成28年 葉月[はづき]

第2巻8号(通算14号)

【月初のつぶやき】

いよいよ税理士試験が間近に迫ってきています。受験生のみなさんは、どんな調子でしょうか。準備が十分な人、不十分な人、色々いると思いますが、とにかく、本番は一心不乱にやりきるしかないですね！

税理士試験後は、ほとんどの学生が夏休みに入ります（世間の夏休みよりも大幅に少ないですが…）。夏休みの空気に吞まれ、CPA生だという自覚を忘れないようにしてください。

1年生は、夏休み後のバスハイクも待っています！
この夏休み、どれだけ休まずに頑張れるかがこれからの成長を握っていますよ！
メリハリをつけて、日々、精進しましょう！！

今月の目標

一年を通して全国各地で様々な祭りが催されます。その中でも、たくさんの方が集まり、盆踊りに縁日、花火大会と、一番多くの祭りが開かれるのは、夏ではないでしょうか。

特に花火大会は祭りの花形だと感じています。熊本でも7月末から9月初めにかけて、様々なところで花火大会が開かれます。

このような、夏祭りでは、旧友から会社のお偉いさんまで、様々な人が集まります。そのため、この機会に、懐かしい友人と再会し、お互いの近況報告や昔話に花を咲かせるもよし、全然知らない人と交流し人脈を広げるもよしと、夏祭りという「場」を活用し、自分の視野を広げることができるのではないのでしょうか。

実際に、夏祭りを通じて人脈づくりをする人や、夏祭りがきっかけで結婚した人などもいるようです。

あまりこうしたイベントに足を運ばない人は、この機会に、夏祭りに行ってみてはいかがででしょうか。

今日の心がけ◆地域のイベントに足を運びましょう。

クールビズとは、夏期に環境省が中心となって行われる環境対策などを目的とした衣服の軽装化キャンペーンのことをいいます。

始まりは、2005年の京都議定書きょうとうぎていししょを受けて環境省が打ち出したことです。なぜ、クールビズを、政府や環境省が率先して取り組んだかという点、日本の温室効果ガスの排出量を減らし、地球温暖化を防止することの必要に迫られたことがきっかけです。

現在では、多くの企業がクールビズに取り組み、徐々に定着しつつあります。クールビズを行うことは、地球環境だけではなく、企業にもメリットがあり、エアコン温度を上げ消費電力を抑えることで、電気代などの経済的にも節約することもできます。

また、クールビズをファッションとしても考え、おしゃれなクールビズ専用のスーツや、クールビズの着こなし方等、コーデ特集としても採り上げられるようにもなりました。

今後、ますます暑くなると、ついついエアコンの温度を下げてしまうのではないのでしょうか。しかし、エアコンの温度を下げる前に一度、環境のことを考えてみてから行動してみたいかがででしょうか。

今日の心がけ◆エアコンの温度を1℃上げてみましょう。

説得力は、経験の差で違ってきます。どれほど博識はくしきでも、そこに経験がなければ説得力もありません。

テレビでよく見る評論家や学者の話聞いて、胡散臭うさんくさいと感じたことはないでしょう。例えば、U M Aユイマの研究者は、U M Aの存在を肯定こうていし、様々な仮説を立てて立証しようとしています。

しかし、前提とするU M Aを、学者たちは実際に目にしてる訳ではありませんし、それは私たちも然しかりです。

人間は、実際の経験に基づいて正確な知識を得ようとするものです。そこに、経験が伴わなければ、いくら熱弁ねつべんをされ心惹ひかれようとも、頭の中では、懷疑かいぎてき的に思えてしまうものです。U M Aの場合でも、もし学者が実際に見たとしても、聴き手が見たことないのであれば、万人ばんにんに受け入れられないのは当然のことです。

つまり、話し手と聴き手の両者の経験があつて、初めて話の説得力が増すということ。話をより有意義に聞くためにも、様々な経験を積んでおきたいものです。

今日の心がけ◆**たくさんさんの経験をしましょう。**

人生において、どんな人でも必ず壁は立ちほだかります。

例えば、学校、職場、家庭等において様々な問題に悩み、苦しんだことがある人は少なくはないでしょう。また、高い壁に突き当たったとき、乗り越えることを諦めたり、逃げたりした経験がある人もいるかもしれません。それほど高い壁を超えることは、とても大変なことです。

しかし、壁を超えるための方法の一つではなく、また、絶対に一人だけで乗り越える必要はありません。地道に努力して超える方法や、これまで学んで得た知識や考え方という武器を活かして突破する方法もあるでしょう。もしくは、その壁を超えたことのある仲間に協力してもらい、引っ張り上げてもらうこともあるでしょう。

※『高い壁を乗り越えた時、その壁はあなたを守る砦となる』高い壁を超えた経験は、とても大きな糧かてになります。

いつか振り返ったときに、頑張つて乗り越えてよかった、と後悔のない選択をしたいものです。

※ マハトマ・ガンジーの名言

今日の心がけ◆色々な角度から解決法を考えてみましょう。

みなさんは、健康のためにどのようなことをしていますか。

健康を維持するためには、「適度な睡眠」、「適度な運動」、「バランスの良い食事」が必要で

す。しかし、年齢が上がるにつれ、運動することが減ってきたり、仕事や学業が忙しく、睡眠時間が少なくなったり、外食が増えバランスの良い食事をとれなくなることもあります。

そこで、健康状態を維持するためにも、「適度な睡眠」、「適度な運動」、「バランスの良い食事」を日々意識して生活することが大切です。

健康状態の維持は、人生における土台になります。健康状態を維持することで、集中力の向上にも繋がります。仕事や学業にも力を入れることができますようになります。これからの人生をより良いものにするために、「適度な睡眠」、「適度な運動」、「バランスの良い食事」を心がけて生活してみてくださいはどうか。

今日の心がけ◆**適度な睡眠、適度な運動、バランスの良い食事をとりましよう。**

みなさんは、日本の夏の風物詩である花火の歴史を知っていますか。

日本で初めて花火が打ち上げられたのは、1613年イギリス国王の使者が来日した時で、同行していた中国人が打ち上げました。このときに立ち会っていたのが徳川家康でした。徳川家康が、将軍や大名へ花火を伝え、町民へと次々に広まっていったのです。

徳川家康が見たことで江戸中に花火が広がり、花火師となった弥兵衛が「鍵屋」を立ち上げました。その後、鍵屋の中でも特に働き者だった清吉という男によって、のれんわけした玉屋が誕生します。二大花火師が花火を競い、「かぎや」「たまや」という掛け声がうまれたのも江戸時代だったのです。

そして「江戸の花火大会」は両国の川開きがきっかけとなっています。1732年は大飢饉など、日本にとって凶年となりました。翌年に、幕府が慰霊と悪霊退散を願い隅田川で水神祭を執り行い、花火が打ち上げられました。その際、両国橋を挟んで上流を玉屋、下流を鍵屋が受け持つっており、合計20発が打ち上げられたといわれています。

戦国時代で多く使用されていた火薬が、日本人の手によって、見る人に感動を与える花火に生まれ変わったのです。

今日の心がけ◆花火のように感動を与えられる人になりましょう。

紙は、私達の生活に欠かせないものですが、いつの時代に発明されたかご存知ですか。紙が発明され普及する前から、人間は世界各地でさまざまなものを、文字などを筆記する媒体として利用してきました。

例えば、古代エジプトではパピルスパピルスを、西アジア・ヨーロッパでは羊皮紙ようひしを、東洋では木簡もっかん・竹簡ちくかんなどが知られています。

世界最古の紙は現在、中国の放馬灘ほうばたんから出土しゅつどしたものだとされており、この紙は、紀元前150年頃のものだと推定されています。日本には7世紀前までに伝えられ、その後は和紙として独自の発展を遂げました。

このように紙は古くから私達の生活、文化の発展と共にあります。しかし現在は、紙が環境に与える影響が問題視されています。紙を無駄に消費せず森林を守っていきたいですね。

今日の心がけ◆紙の消費の無駄を減らしましょう。

「春はあけぼの、夏は夜、秋は夕暮れ、冬はつとめて」これは、随筆「枕草子」で清少納言が四季それぞれの好きな時間帯を示したものです。

このように、昔から日本人は、春夏秋冬すべての季節を楽しみながら暮らしてきました。その証拠に、春には花見、夏には祭、秋には月見、冬には正月など、月ごとに様々な行事を催しています。

また、四季の自然の美しい景色をたとえた言葉に「花鳥風月」があります。この言葉は、自然をみやびなもの、うるわしく移ろいやすく愛惜されるべきものとしてとらえる言葉であり、またそのような美によって成り立つ世界のことを表しています。日本人は、大自然ではなく、四季それぞれの花、鳥、風、月など特定の対象を選び、それらの微妙な変化の内に美を発見してきました。

そして、そうした花鳥風月をあしらったものには、「花札」があります。花札は、1月から12月までの季節にちなんだ図柄が描かれており、日本人にとって、四季がどれほど身近で楽しむべきものであったのかが窺えます。

四季は、人工物では感じる事が出来ません。自然があつてこそ、春夏秋冬それぞれの季節を感じる事が出来るのです。ぜひ、外に出て自然に触れ、毎日変化する四季の移ろいに目を向けてみましょう。

今日の心がけ◆四季の情緒を味わえる人物になりましょう。

日々生活していく中で、相手とのすれ違いを感じることがあると思います。これは、視点の違い、価値観の違いが原因です。

人間というのは、どうしても自分たちの目線で、ものごとを判断し、行動しがちですが、相手にとっては、これがストレスに感じることもあるようです。

このズレを縮めるには、相手とのコミュニケーションを如何に円滑えんかつに深く行えるかが鍵となります。私の思うコミュニケーションとは、相手の話に敬意を払い集中して聴き、自分の意見を論理的かつ分かりやすく伝えることです。

特に仕事においては、日頃からの意思疎通いしそつうの未熟さや、相手の情報に対するアンテナの感度の鈍さから、クレームに繋がることもあります。また、迅速さも求められ、如何に早く対応するかも重要となってきます。

一流の社会人になるためにも、聞き上手で、上手く相手の意向を汲み取ると同時に、常に新しい情報を仕入れて、相手に伝えられる、話し上手を目指したいものです。

今日の心がけ◆コミュニケーション力を磨きましよう。